

持続可能な農業と現代ネパール社会 — 日本との出会い、修行、悩み、そして未来 —

日時：2015年2月22日(日) 14時~15時40分

会場：東京外国語大学 留学生日本語教育センター内 さくらホール
(参加費無料 予約不要)

講演者：マハラジャン ケシャブ ラル 氏
(広島大学 大学院 国際協力研究科 教授)



講演者経歴：

1979年日本政府(文部省)国費留学生としてネパールより来日。東京外国語大学外国語学部附属日本語学校を経て、京都大学農学部に進学。その後、京都大学大学院農学研究科に進学。農学博士。現在、広島大学大学院国際協力研究科教授。研究領域は、途上国における農村社会の変容・農業経済・開発問題。

講演は日本語で行い、質疑応答を含め90分ほどの予定です。

日本政府国費留学生制度とは：

日本政府(文部科学省)の国費外国人留学制度は1954年に創設され、学部留学生、研究留学生、教員研修留学生など7つのプログラムで構成されています。本センターの前身である外国語学部附属日本語学校は1970年に学部留学生の予備教育機関として設置され、現在は日本語教育を中心に様々な留学生教育プログラムを実施しています。

会場への行き方

JR中央線：「武蔵境」駅のりかえ、西武多摩川線で

「多磨」駅下車 徒歩5分

京王電鉄：「飛田給」駅北口より、多摩駅行き京王バスにて

「東京外国語大学前」下車

東京外語大キャンパス内、留学生日本語教育センターへ

直接お越しください

お問い合わせ

講演会担当：jlc-koenkai@tufs.ac.jp

TEL：042-330-5775

